

# 令和 4 年度 年間授業計画

東京都立大泉高等学校 全日制課程

教科・科目 講座名	情報・情報の科学	単位数	2 単位	必修
対象学年・組	2年 1組～5組			
担当教員	飯島 悠貴			
教科書等	日本文教出版「新・情報の科学」、日本文教出版「情報のノート」、数研出版「情報モラル」			

学習の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会を支える情報技術の役割や影響を理解し、情報と情報技術に関する基礎的な知識と技能を習得する。</li> <li>・情報技術の進歩が人間や社会に及ぼす影響を理解し、その特性を踏まえた適切なマナーやルール、情報の安全性などに関する基礎的な知識と技能を習得する。</li> <li>・情報機器や情報通信ネットワークに関する基礎的な知識や技能の習得を通して、問題の発見と解決に効果的に活用するための科学的な考え方を習得する。</li> </ul>
-------	--

学期	単元(学習内容)	時間	学習上の留意点
1学期	① コンピュータと情報処理	24	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文書作成ソフトなどの特徴を把握させ、基本的な操作方法の徹底を図る。</li> <li>・情報社会の概要を客観的に捉えることができるように指導する。</li> <li>・情報のデジタル化が日ごとに進んでいることを理解させる。</li> <li>・情報システムを利用する際の注意点について理解させる。</li> </ul>
	② 情報のデジタル化		
	③ メディアとコミュニケーション		
	④ ネットワークの動作としくみ		
	⑤ 情報セキュリティ		
	⑥ 情報社会と情報システム		
	⑦ 安全な情報社会を目指して		
2学期	⑧ 問題解決とは	28	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問題解決とはどういうことか、それを学ぶ意義を理解させる。</li> <li>・問題解決の基本的な流れを理解させる。</li> <li>・簡単なプログラムの作成方法を習得させる。</li> <li>・HTMLタグの意味を理解し、Webページを工夫して作成するための基本的なスキルを身につけさせる。</li> </ul>
	⑨ 問題解決のための方法		
	⑩ 問題解決の実践		
	⑪ アカデミックスキルズ		
	⑫ 基本的なアルゴリズムとプログラム		
	⑬ いろいろなアルゴリズム		
	⑭ グループで行う問題解決		
3学期	⑮ モデル化とシミュレーション	18	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問題解決の対象をモデル化し、シミュレーションを用いて解決する方法を理解させる。</li> <li>・簡単なデータベースを作成できるように指導する。</li> <li>・問題解決について学んだ知識を生かし、実際的な問題を解決する。</li> </ul>
	⑯ 情報の蓄積・管理とデータベースのしくみ		
	⑰ グループによる問題解決型学習の実践		

評価の観点・方法	各学期ごとの定期考査試験、および実習の成果物やレポート、授業の取り組み状況、提出物、出席状況等を総合的に評価する。
----------	---